

第2期ICT活用推進計画

第1回ICT活用推進委員会

令和5年10月25日（水）

第2期ICT活用推進計画 施策の取組状況 (R4～R5)

1 - ① : 暮らしを変える (安心・安全)

施策	デジタル化に向けた内容	時期	進捗管理
(1)子育て	こども園の各種記録の電子化(出席簿、指導要録等) ～こども園におけるICT活用～	R5.3	○
	マイナポータル電子申請の拡大(14業務)	R4.12	
	入園手続関係のデジタル化 ～申請から事務処理～	一部稼働 (事務処理)	
(2)高齢者福祉	独居老人への見守り事業等 ～スマートスピーカー活用事業(飯地町)～	R5	○
	高齢者向けスマートフォン活用教室の開催【再掲4-(3)】	R4.4	○
(3)障がい者福祉	障がい者手帳のデジタル化(アプリ)	R4.10	
(4)健康・医療	予防接種申込などのオンライン化	一部実施	
(5)社会インフラ	Aiによる漏水箇所の特定(上下水道課)	R4～	
(6)ごみ対策	リユース活動の促進	継続検討	—
(8)災害対策	遠隔監視による災害状況の把握 (水位計、センサー、カメラ等の活用)	R3～	

第2期ICT活用推進計画 施策の取組状況

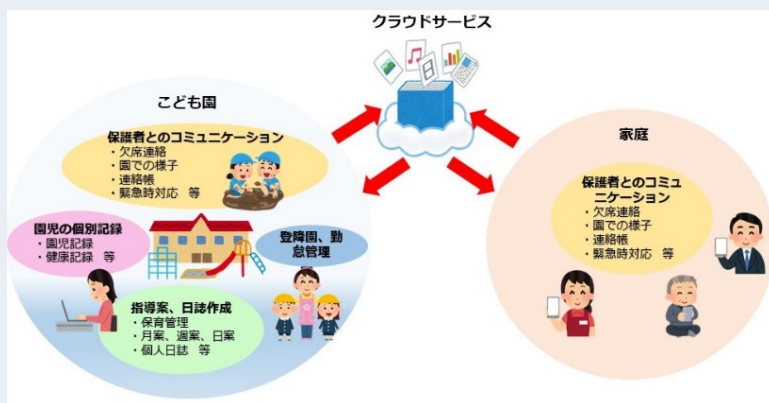
1-①：暮らしを変える（安心・安全）

デジタル化に向けた内容

こども園における各種記録の電子化
(出席簿、指導要録等)

マイナポータル電子申請の拡大
子育て分野14業務

イメージ



日々の記録 業界初！タブレット対応で簡単入力。出欠管理もワンタッチ！

出欠登録例

※ボタンを押しただけOK。

①園児名をタッチ

②出欠理由をタッチ

主な機能

- ★出欠記録
- ★欠席理由
- ★延長保育記録
- ★発達子エック
- ★個人記録
- ★送迎者管理
- ★園長先生の部屋
- …など

入力完了
たったこれだけ！

びったりサービスの概要

はじめまして。“びったりサービス”です。
あなたの生活の手続きを、もっと身近にします。

思われ手間がかかってしまう、生活に必要な手続き、
びったりサービスを使うと、オンラインで手続きの検索や書類作成、
そして電子申請ができるようになります。

びったりサービスの概要

びったりサービス ご利用の流れ

STEP 1 地域別に
手続を検索

STEP 2 検索結果から
申請する手続を選ぶ

STEP 3 必要な情報を
入力する

STEP 4 添付書類を
登録する

STEP 5 申請データを
送信する

知りたい手続の
詳細をみる

申請書を
印刷する

恵那市では47手続きがオンラインで可能

第2期ICT活用推進計画 施策の取組状況

1-①：暮らしを変える（安心・安全）

デジタル化に向けた内容

高齢者向けスマートフォン活用教室の開催



移動型や施設型で実施

障がい者手帳のデジタル化(アプリ)

MIRAIRO ID
障害者手帳を、
あなたのスマホに。

カバンや財布から取り出していた障害者手帳を、
スマホでパッと提示できます。

- 障害者手帳をスマホに表示
- お得に使える電子クーポンを提供
- 障害者割引価格のチケットを販売
- 一人ひとりに合わせた情報を配信
- 必要なサポートの伝達をアシスト
- 施設のバリアフリー情報を掲載

障害者手帳をアプリに登録、スマホで提示

イメージ

第2期ICT活用推進計画 施策の取組状況（R4～R5）

1－②：暮らしを変える（豊かさ・便利さ）

施策	デジタル化に向けた内容	時期	進捗管理
(3)交通・買い物	公共交通アプリ、コンシェルジュの仕組みの構築	R4.10	
(4)デジタル化	公共施設予約のオンライン化【再掲1-②(8)】	R5.3	○
(6)教育	多様な学びの提供(リスキリング)【再掲1-②(6)】 受講状況350人(一般162、企業90、教育31、行政67)	R4.9	
	ペッパーを活用したプログラミング授業の実施	R2～	
(7)生涯学習	文化施設のWi-Fi設置、インターネット環境の整備	継続検討	—
(8)スポーツ	公共施設のオンライン予約化【再掲1-②(4)】	R5.3	○

第2期ICT活用推進計画 施策の取組状況

1 - ② : 暮らしを変える (豊かさ・便利さ)

デジタル化に向けた内容

公共交通アプリ、コンシェルジュの
仕組みの構築



システムとオペレータで総合的に案内

公共施設予約のオンライン化



恵那市公共施設予約システム

イメージ

第2期ICT活用推進計画 施策の取組状況

- 1 - ② : 暮らしを変える (豊かさ・便利さ)
- 2 : 仕事・働き方を変える

デジタル化に向けた内容

多様な学びの提供(リスキリング)
市内事業所のデジタル化に向けた伴走型支援

イメージ



約9,600講座をいつでも、どこでもオンラインで学ぶ

岐阜新聞・中日新聞記事

第2期ICT活用推進計画 施策の取組状況（R4～R5）

2：仕事・働き方を変える

施策	デジタル化に向けた内容	時期	進捗管理
(2)産業振興	市内事業所のデジタル化に向けた伴走型支援 リスクリング事業【再掲1-②(6)】	R4.9	
	プレミアム付き商品券の一部電子化(商工課)	R4～	
(3)観光	デジタルマーケティングの活用検討 人流データ	継続中	

第2期ICT活用推進計画 施策の取組状況（R4～R5）

3：行政運営を変える

施策	デジタル化に向けた内容	時期	進捗管理
(1)行政手続	行政手続のオンライン化（マイナポータル47業務）	R4.12	
	ICTインフラ整備事業 （寄り添う窓口、書かない窓口、オンライン窓口）	R4.12	指標検討
(2)業務最適化 （業務改革）	RPA導入による事務負担の軽減 R4 9業務 R5 5業務	R4.7	○
	自治体情報システムの標準化・共通化対応 （20業務）	継続中 R7末	
	AI-OCR導入による負担軽減	R4.8	

4：意識を変える

施策	デジタル化に向けた内容	時期	進捗管理
(3)デジタルデバйд 対策	高齢者向けスマートフォン教室【再掲1-①(2)】	R4.4 継続中	○

第2期ICT活用推進計画 施策の取組状況

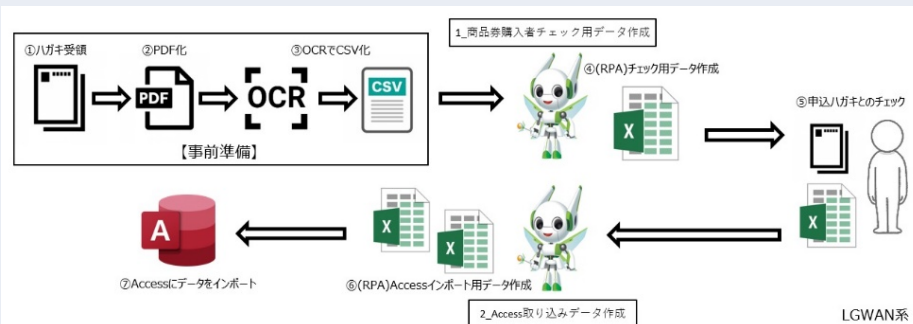
3：行政運営を変える

デジタル化に向けた内容

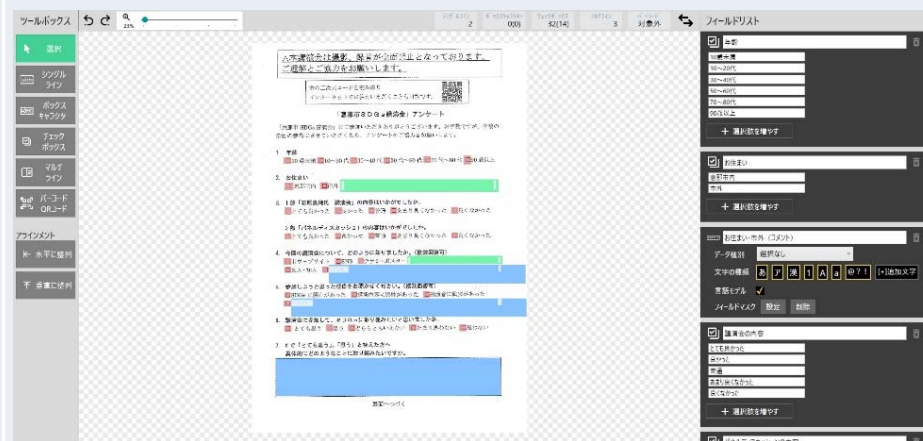
RPA導入による事務負担の軽減

AI-OCR導入による負担軽減

イメージ



9つの業務で活用



用紙に記入された文字をデジタルに変換

第2期ICT活用推進計画 主要な事業の進捗状況

進捗状況

事業	指標	目標値	現在値	達成率
こども園の各種記録の電子化(出席簿、指導要録等) ～こども園におけるICT活用～	各種記録書の電子化	主要10種	3種	33%
独居老人への見守り事業等 ～スマートスピーカー活用事業(飯地町)～	飯地町における設置・ 活用世帯数	全255世帯の 9割設置運用	R5設置予定	
高齢者向けスマートフォン活用教室の開催(R4実績) 施設型 19回 募集190人 参加100人(52.6%) 移動型 103回 募集592人 参加240人(40.5%)	募集席数における参 加者数	定員(782)の 7割参加	340	43.5%
公共施設予約のオンライン化	利用可能施設数	全86施設	57施設	66.3%
RPA導入による事務負担の軽減(R4実績) 9業務に導入	削減時間割合	選定業務の9 割時間削減	1724.8h削減 全1,976h	87.3%
ICTインフラ整備事業 (寄り添う窓口、書かない窓口、オンライン窓口)				手続き数、利用者の満足度など今後検討

第2期ICT活用推進計画（R4～R6）

● 今後取り組みが必要な施策について

項目	施策
1-① 暮らしを変える(安心・安全)	(7)防犯・交通安全
1-② 暮らしを変える(豊かさ・便利さ)	(1)自然環境の保全 (2)歴史・文化・まち並み (5)セキュリティ対策 (9)地球温暖化・エネルギー・地産地消
2 仕事・働き方を変える	(1)働き方
4 意識を変える	(1)地域自治 (2)人材育成

参考資料

- こども園におけるICT活用について
- スマートスピーカー活用事業について
- デジタルデバイド対策事業について
- 公共施設予約システムについて
- RPAの活用について
- ICTインフラ整備事業の概要について

こども園ICT化に係る資料

保育業務支援システム（キッズビュー）の活用



恵那市公式キャラクター エーナ

幼児教育課



1. 園の抱える課題

- 園児の記録などが紙管理で種類も多岐にわたる
- 保護者に渡す書類や連絡が多くある
- 日誌や指導案の作成に多くの時間を費やしている
- 園児たちと触れ合う時間をもっと増やしたい
- 保育教諭の確保に毎年苦勞している
- 子供たちの学び(遊び)の選択肢を増やしてあげたい
- ネットワーク環境が無いため、オンライン会議など不便
- ICT機器の整備が不十分なため、園務や保育に限りがある
- 園の様子を保護者にリアルタイムに届けられない

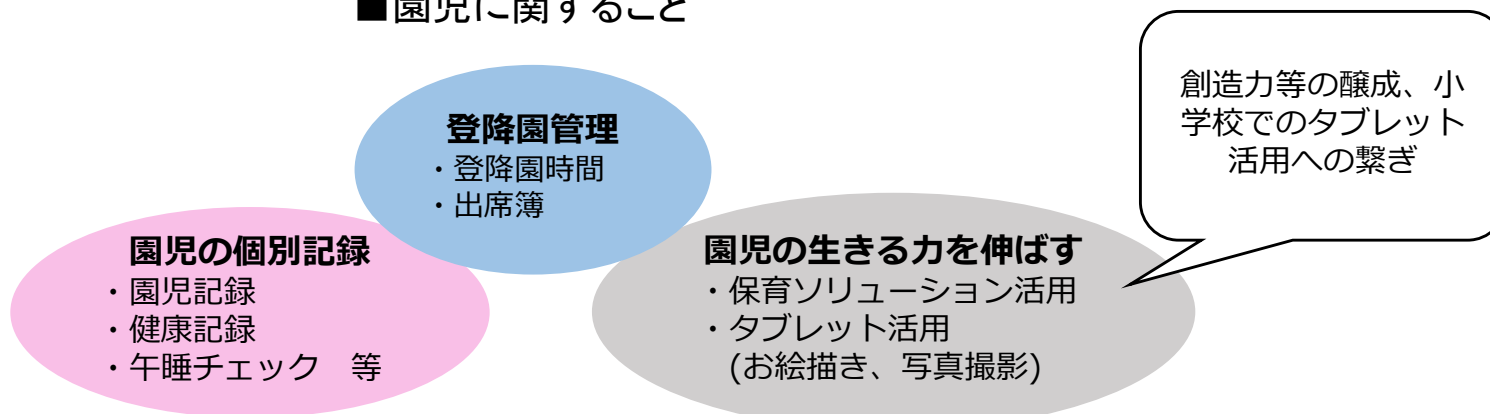




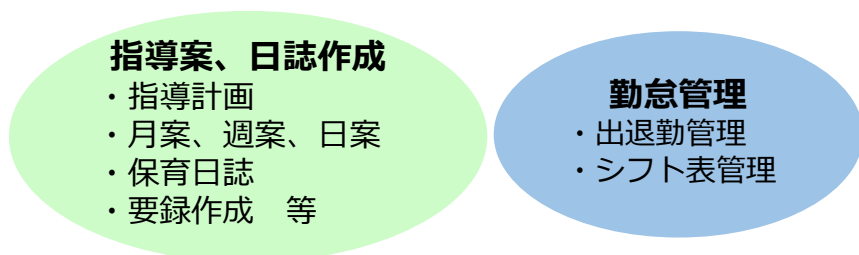
2. 使用する機能等(想定)

様々な種類の業務効率化のシステムがありますが、機能には大きな違いはありません。
園で使用を想定している機能は、次のとおりです。

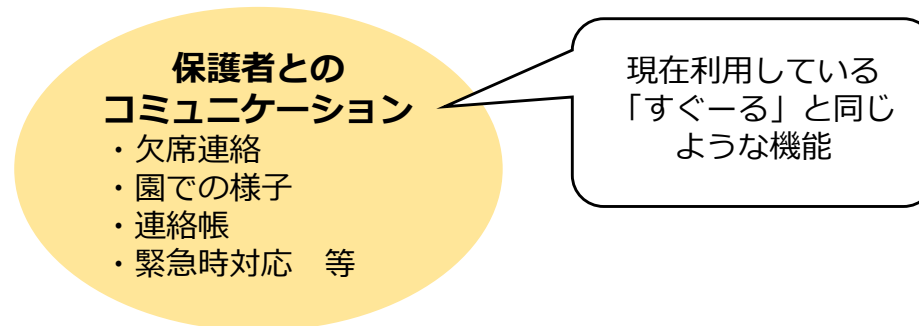
■園児に関すること



■職員に関すること



■保護者に関すること



園業務のICT化 = 保育教諭の負担軽減 = 園児と向き合う時間の増加、保護者の満足度up





4. ICT化による業務削減予測

	作業頻度	現在(1回・日あたり)	導入後(1回・日あたり)	削減時間
電話対応(朝・夕)	毎日(月20日)	15分	10分	約1時間30分/月
保育士間連携 (朝礼)	毎日(月20回)	15分	5分	約3時間/月
月間指導計画	月1回	90分	30分	1時間/月
週間指導計画	月4回	90分	30分	4時間/月
個別記録(未満児)	月1回	120分	30分	1時間30分/月
シフト、早遅表作成	月2回	6時間(月2回)	3時間(月2回)	3時間/月
保護者への資料作成	月8回	50分	30分	約2時間30分/月
要録作成(以上児)	年2回(20人)	60分(年2回/人)	30分(年2回/人)	園児1人あたり10時間/年
要録作成(未満児)	年2回(新規10人)	60分(年2回/人)	30分(年2回/人)	園児1人あたり5時間/年





5. 運用スケジュール (案)

黒: 本格運用
緑: 準備、試行

2023年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
導入準備	仮稼働	稼働					
対保護者		<ul style="list-style-type: none">● 登降園QRコードリーダー● 欠席連絡● お知らせ配信				<ul style="list-style-type: none">● 身体測定● 発達の記録● 保育日誌 (未満児)● 連絡帳 (以上児)	
業務		<ul style="list-style-type: none">● 園児名簿● 午睡記録● 出席簿● 名前シール	<ul style="list-style-type: none">● 指導計画 (年・月・週案)● 要録● 個別記録 (未満児)			<ul style="list-style-type: none">● 園児健康診断票● こども園日誌● 給食日誌	
		幼児教育課対応	<ul style="list-style-type: none">● 出退勤簿 (会計年度任用職員)		<ul style="list-style-type: none">● フォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none">● 職員シフト作成	



5. 運用スケジュール (案)

黒: 本格運用

緑: 準備、試行

10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月
稼働							
<ul style="list-style-type: none">● 身体測定● 発達の記録● 保育日誌 (未満児)● 連絡帳 (以上児)							
<ul style="list-style-type: none">● 職員シフト作成● 出退勤簿 (会計年度任用職員)			<ul style="list-style-type: none">● 園児健康診断票● こども園日誌● 給食日誌		<ul style="list-style-type: none">● 指導計画 (年・月・週案)● 要録● 個別記録 (未満児)		



スマートスピーカーの設置 と活用について

～デジタル技術を活用して安心安全な生活を～

- スマートスピーカーを飯地町全世帯に設置します
- 市や地域からの行政情報を配信します
- 高齢者等の見守りに活用します
- 災害、防災情報を配信します
- その他の活用方法についても検討します

※お問合せ 市役所情報政策課 26-2111 (356・358)

デジタルデバйд対策

恵那市 2022年度振り返り

開催実績

令和4年度

①施設型スマホ教室(ドコモ支援)

開催期間:10か月(6月~3月)

開催日数:18日

1日1回の開催で、MAX10名参加

参加延べ人数は約100名

基本自前端末で実施

②移動型スマホ教室(スマサポ号)

開催期間:半年間(4月~9月)

開催日数:103日

592席数の募集に対して、240席

キャリア準備端末で実施

※生涯学習教室(情報政策課管轄外)
文化センター 3階

課題

- ・デジタルデバйд対策の目標が不明
いつまでに、どこまでやるのか
- ・初歩的な内容でニーズに合っているか
- ・周辺地域での参加者が極端に少ない

次年度に向けて

①場所について

恵那文化センターでの開催を中心とし、国の補助事業制度を活用した事業を展開する事業者により周辺部を網羅

②教室種類について

既存の取組を継続(ショップ活用など)

防犯、防災関係を追加しては?市の施策に沿ったタイムリーな内容

③組織について

地元の人を取り込む仕組みを構築できないか?

★公共施設予約システムの活用による市民サービスの充実について

●公共施設予約システムとは

スマートフォンやパソコンからいつでも市内の公共施設の空き状況の確認や予約ができるシステム。
キャッシュレス（クレジットカード）にも対応。



★ブックマーク
ゲスト様ご利用ありがとうございます

お知らせ 空き協会・予約 抽選情報 施設ご案内 パスワード忘れ 利用者登録 ログイン

まきがね公園体育館
2023年10月
更新

2023-10-13(金) 予約する
前日 本日 翌日

日別状況 月別状況
2023年10月13日(金) まきがね公園体育館予約状況

施設	09:00	09:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
アリーナ (全席)	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
アリーナ南 (半面)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-
アリーナ北 (半面)	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-
アリーナ南中 (2/3)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-
アリーナ北中 (2/3)	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-
アリーナ南 (1/3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	-
アリーナ中 (1/3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
アリーナ北 (1/3)	○	○			△		○	○			△			○	○	○	○	○	○	-

予約可能 選択不可
空き 利用不可
予約済み 電話対応
保守 仮予約

●導入目的

市民の利便性の向上と窓口や電話での予約や現金の扱いを省略することで事務の効率化につながる。
令和4年度 システム構築
令和5年度 運用開始

●利用状況等

市内公共施設86のうち57施設で運用を開始。直近で734人（個人、団体）のシステム利用の登録がある。

★RPA（ロボティック プロセス オートメーション）の活用による業務効率化について

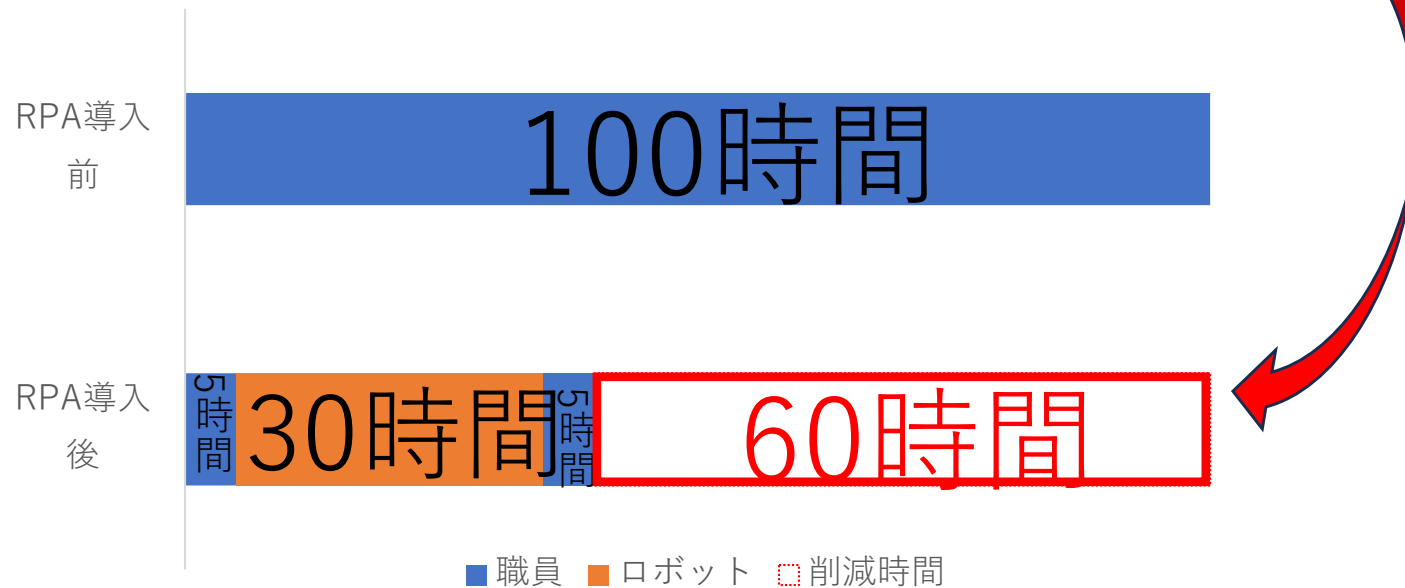
●RPAとは

作業の自動化、定型的な作業や複数のシステムをまたいでの作業等、人の判断や毎回違う手順が必要な作業以外を自動化し、ロボットプログラムが処理を行う。

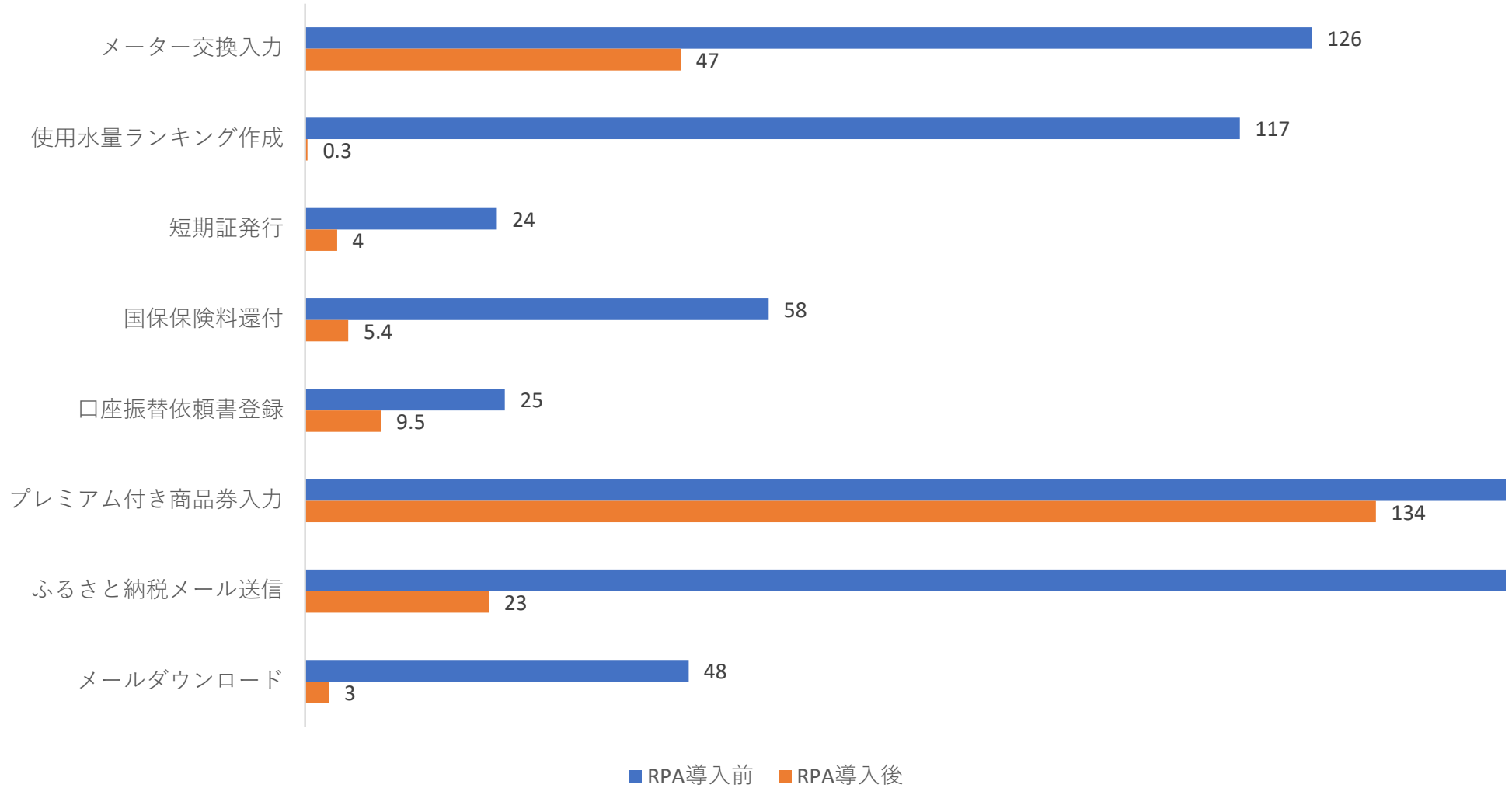
●RPA導入目的

職員の単純作業に費やす時間を効率化し、より良い市民サービスの提供に費やす時間を確保する。

●効率化イメージ



●RPA導入効果（推計削減時間）



●RPA導入効果（推計削減時間）

※令和4年度導入業務

業務名	担当部署	RPA導入前業務時間 (年間)	RPA導入後業務時間 (年間)	削減時間
メーター交換入力業務	上下水道課	126h	47h	79h
月末の未納者情報・使用水量のランキング作成	上下水道課	117h	0.3h	116.7h
短期証発行業務	保険年金課	24h	4h	20h
国保保険料還付事務	保険年金課	58h	5.4h	52.6h
口座振替依頼書登録業務	税務課	25h	9.5h	15.5h
プレミアム付き商品券入力業務	商工課	600h	134h	466h
ふるさと納税返礼品依頼メール送信	地域振興課	953h	23h	930h
入園申込み入力業務	幼児教育課	25h	構築のみ	R5より稼働
メールダウンロード業務	情報政策課	48h	3h	45h
合計				1724.8

※削減時間による効果額（推計） $1724.8 \text{ h} \times 2,500 \text{ 円} \text{ (職員平均時間単価)} = \mathbf{4,312,000 \text{ 円}}$

●RPA導入結果と次年度へ向けて

- ・ RPA導入後の方が費用対効果大きい。
- ・ RPAの導入により、業務時間と費用の双方を削減できることが確認できた。
- ・ ロボット開発を外部に委託した場合でもRPAにかかる費用が人件費を下回ることも確認できた。
- ・ 十分な効果を得るために、大きな削減効果が見込める業務選定が重要。
- ・ 日々行っている業務の無駄を徹底排除し、そのうえでどの部分を自動化するのか見極める事が重要。